



ID: 1230

科目名	レクリエーション論 【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	岡部 祐介			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	後期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
本講義では、レクリエーションが広義の余暇活動の一部を構成していることや、レクリエーションの概念・歴史・現状や問題点、実際のレクリエーション活動について理解していく。特にレクリエーション活動としてのスポーツや遊び、運動のとらえ方について生涯スポーツや福祉レクリエーションの考え方も理解する。							
到達目標							
・レクリエーションの概念・歴史・現状について理解できる。・レクリエーション活動と健康づくりについて理解できる。・実際のレクリエーション活動について理解できる。							
授業計画							
第1回	レクリエーションとは何か						
第2回	余暇時代の到来とレクリエーション—レジャーとレクリエーションの関係—						
第3回	現代社会とレクリエーションの必要性						
第4回	レクリエーション運動の理念とスローガン						
第5回	余暇生活の現状と課題						
第6回	ライフサイクルと余暇教育						
第7回	健康づくりとレクリエーション						
第8回	レクリエーション運動と生涯スポーツ						
第9回	レクリエーション指導とレクリエーション活動①室内で行うレクリエーション						
第10回	レクリエーション指導とレクリエーション活動②室内で行うレクリエーション						
第11回	レクリエーション指導とレクリエーション活動③体を動かすレクリエーションの紹介						
第12回	行事の企画と運営						
第13回	レクリエーション活動と組織						
第14回	レクリエーションの組織と指導者育成						
第15回	レクリエーション活動と福祉レクリエーション						
評価方法及び基準			評価項目と割合(%)				
出席・態度や毎授業時に実施する小レポートによる平常点(50点)および定期試験(50点)による総合評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10	10	50	
授業外学習			テキスト、教材				
なし			適宜、配布。				
参考書			受講生へのメッセージ				
(財)日本レクリエーション協会教育センター編(1990)『レクリエーション概論』(財)日本レクリエーション協会人材開発本部編(1993)『レクリエーション入門』(財)日本レクリエーション協会監修(2000)『福祉レクリエーション総論』、中央法規出版			授業の前半は講義が中心になりますが、後半は実際にレクリエーション活動を行います。室内で行うもの、体育館で行うものなど紹介します。積極的に参加してください。授業中の携帯電話の使用は、必要時以外、禁止。				
キーワード							
レクリエーション							